

日中友好新聞

府連通信

2026年8月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

72府連大会を新たなスタートに

大阪府連会長 山本恒人

支部中心の
友好運動の広がり

大阪府連第72回大会が7月12日開催されました。各支部から紹介された日中友好活動はまるで満開の花のようでした。

中国語・太極拳・切り絵・学習講演会、女性部映画観賞会・中国旅行・ハイキング・餃子づくり・百科検定試験・新聞作り・合唱・楽器演奏。それぞれの交流が深まれば、新たな会員・準会員が加わってくれます。

城北支部は2019年31名で結成されましたが、今年で88名の大支部に成長し、来年にも三桁の支部に到達です。

中国は隣人同士、衝突は一利なし
昨年秋の高市首相発言で「日中関係が冷え切ってしまった」のは大変残念です。1971年国連総会における中華人民共和国の承認と国連からの中華民国（台湾）の追放、続く72年日中国交と79年米中国交の正常化は、中華人民共和国と諸国との関係を「一つの中国」原則のもとに正常化していくという、国際関係の基本的枠組みを提供しました。

これを無視して「台湾有事」とは中国が台湾に武力侵攻する

新役員紹介

会長・山本恒人。
副会長・浅田美奈子、理事長・松尾豊。副理事長・浜正幸、事務局次長・澤野井公夫。常任理事・石井勉、岡田英樹、片山英徳、高田佳誉子、恒岡正勝、登り山和希、松原弥寿夫、森脇篤子。
理事・浅田勝美、上村康夫、小部修、栗山俊子、早乙女実、坂手日登美、佐藤倫理、土井一正、長山瑛子、西澤信善、西脇義彦、林英子、羽生義人、平松悦雄、藤崎光子、藤田大輔、前田尋、森西武志、山本範枝、会計監査・谷澤弘喜、西本博文。顧問・小林徳子、藤後博巳、渡辺武、参与・西村成雄。

府連大会 29名参加

7月12日、第72回大阪府連大会はPLP会館で29名が参加して開催されました。大会では不

再戦・平和・交流活動、五原則に沿った支部活動、百科検定や学習会など多彩な発言があり、11月の「文化のつどい」や来年の「1946大阪展」などに取

り組むことになりました。大会は近藤事務局長の開会宣言と物故者への黙とうで始まり、議長に濱（中河内支部）高田（吹田支部）議事運営委員に森協（城北支部）選管・資格審査

した。25年度活動報告と26年度活動の進め方を松尾理事長が提案。25年度決算報告は平松理事25年度会計監査報告は議長団が代読。26年度予算案は近藤事務局

メッセージ 24団体

中華人民共和国駐大阪総領事館、日本共産党国会議員団事務所、日本共産党大阪府議会議員団、石川たえ、明るい民主大阪府政をつくる会、大阪市をよくする会、大阪憲法会議・共同センター、日本コリア協会大阪、日本ユーラシア協会大阪府支部連合会、大阪アジア・アフリカ、ラテンアメリカ連帯委員会、日本国民会（敬称略順不同）

大会宣言

第72回大阪府連大会は、昨年11月の国会での首相の日中共同声明の根本を破壊する「一つの中国」否定に踏み込む台湾有事発言で、日中関係が国交回復以来の厳しい状態にある情勢の中、7月12日、大阪天満のPLP会館を会場に29名の参加で開催されました。



2年に一回行っている、今年11月開催の「文化のつどい」成功のよびかけ、仲間増やし・危機的な府連財政を立て直したいという発言もありました。

いずれの発言も政府間の関係が厳しいこんな時だからこそ、私たち、民間レベルでの日中友好を大いにすすめていこうということが基調になった。

今年6月に協会の歴史で初めて沖縄で開催された第75回全国大会は15年ぶりの地方開催で、その成功が心配されましたが、会場の対面参加者数は昨年の東京を上回りました。要因として、地元組織の奮闘と、「台湾有事の最前線」として軍事基地化に直面している沖縄の地で活動する仲間とともに戦争を許さない全国の協会会員の熱い思いでした。何十年ぶりとなる青年交流会開催も参加者を励ました。全国大会参加者が、そこで感じた思いを、本日の大会につな

部活動。



本日の大会が、向こう一年間の各種課題・活動を、「日本と中国が再び戦うことのないよう、平和と民主主義の立場に立って、日本中国両国民間の相互の理解と友好を深め、平和五原則にもとづく両国関係の発展に寄与し、アジアの平和と世界の平和に貢献する」という協会の目的に沿って、不再戦・平和を深く自覚した取り組みとなるよう全力を尽くすことを宣言します。

2026年7月12日
日中友好協会大阪府連合会
第72回大会

大阪府連大会 10名が多彩な発言

質問発言として

河合利明（城北支部）

全国大会で東京・八王子支部からの発言で、若者3人がグループ立ち上げて活動しましたが、中に中国留学生一人入っていたため、中国人は会員として認められないとのことで活動休止したとの発言がありました、どうして中国人は会員になれないのか？時代の流れにではもういいのではありませんかという質問発言がありました。

答弁に松尾理事長（本部常務会委員）が現在の規約には過去の運動等の経緯経過の基いて準会員となつていきますと説明されました。

西澤信善（理事）

外国人排斥について

私は現在外国人労働者の実態について研究しています。

現在の日本では労働者不足にて外国人労働者に頼らなくてはダメな状態になっています。

一次産業や中小企業ではそれは顕著になっている。

埼玉県蕨市のクルド人排斥について現地を観てきましたが、クルド人だけでなく外国人すべてダメということです。排外主義では今後の日本は立ちいかなくなっていくます。

石井勉（常任理事）

帰国者支援について

日頃2世支援署名ご協力ありがとうございます。全国76800名集まり、大阪では14900名。先日5回目の第4次国会請願行ってきました。

全国で唯一支援委員会立ち上げているのが大阪です。過去35回委員会開催して、委員も一人

増えました。定期的に会議しています、是非各支部からお願いします。

浅田勝美（堺支部長）

堺における平和活動

先日桃山大学国際課から中国留学生を止めましたと連絡受けました。

私も毎年9月中国山東省煙台に教えに行っていました。中止になり、堺支部として煙台等旅行を計画していましたがやむなく中止になりました。

10年歴史散策やつています、コロナ禍前に堺に遣唐使関係に碑があり大仙公園に日中関係のものもありそこを訪問する計画して、大阪中国領事館の方々も訪れるという計画がありました。が、コロナで中止になりました。

今年の秋に再度計画し先日領事館に説明行きました。

堺では他団体と学習会を計画しています。他団体と行うことで省力化になり、また輪が大きくなるようになっていきます。

青木先生を呼んで万人坑学習会も行います。ご協力お願いします。

春名肇（城北支部）

全国大会に参加して

西脇さんが中心になつて中国語教室サークルに行くようになり、入会を勧められて入り3年になります。先日の75回全国沖縄大会に参加しました。

沖縄は30年ぶりでした、費用がかさみますので多くの人からカンパ集めました、まずは家族から説得して1000円ずつ、行きつけの散髪屋ほか繋がりのあるところから多く集めました。

大会では中国人は会員にならない等ありました、もういいのではと感じました。

登り山和希（常任理事）

青年について

青年となつていますが、来年はもっと若い方を連れてくるようにいたします。

百科検定試験も2012年から行われています、今回当大学でも準会場として初級2名が受検しました、これからもっと多くの人が参加できるようにしていきます。

平松悦雄

中国旅行について

西支部活動については議案書を参考に観てください。昨年2度中国にいきました、10月・12月です、丁度高市発言の相前後しています、10月は長谷川テル関係で武漢・重慶へ。12月は台湾有事を意識して厦門・金門島

訪問しました。10月は奈良と大阪の参加でしたので、大阪として重慶人民対外協会表敬訪問に力をいれ実現できました。また重慶では人名歴史館で思い入れ深い出来事ありました。

台湾では厦門（中国）から金門島（台湾）へ船で行きました。波穏やか平和な海が漂っていました、何も台湾有事等ありません、百聞は一見にしかずです、是非一度行って観てください。

西脇義彦（城北理事）

支部組織立ち上げた時は31名で現在88名なっている。この1年で増減はあるが13名増。10月の総会では90名にしたい。

会議の冒頭には常に組織拡大に話をします。組織は数、数は力、佐藤支部長が言っています。

しかしこれは本部大西副理事長が言った言葉と佐藤さんから聞いた良い言葉です。

組織は増やさなくては減ります、行事参加者には会員へと呼びかけます。

医療生協で中国語サークル行っています、17名いますが15名入会しています。これからも呼びかけていきたい。役員が16名います、その大半のひとが繋がりがいかして呼びかけてくれてます、心強いです。

高田佳音子（常任理事）

百科検定について

先日19回百科検定試験行われ、大阪では13名が申し込み、11名が受検されました。他に大学（準会場）で2名受検され合計13名の受検がありました。

当日11名受検のうち1名を除く10名が懇談会に残っていました。10名の内会員5名です。いつもなら早く終え会員外の方は余り参加はなかったのですが、今回は多く残っていました。

「過去問をしつかり行い、不正解のことも調べました」「中国滞在も長くしましたが、文化・歴史について不勉強でした」「中国語長く習っていますが地理がわからなくもつとつかり地図を見なくては思いました」

「この検定はネットで知り文化（映画）に興味もちました、これからは挑戦していきたいと答えていただきました」

この後アプリ「KAN KAN」

関係を具体的にネット検索して行うやり方を画面を通じて説明されました。

山本範枝（西支部）

女性部活動について

議案書にもとずき女性部活動を説明されました。

女性部主催学習会、関西プロック女性交流会、沖縄全国大会女性部交流会等今後のそれらの未来図も話されました。

以上10名の発言がありました。75全国大会で20年会員表彰に西支部の谷澤弘喜さん、物故者顕彰は葭田正明さん、城北支部ニュースと西支部ニュース、府連通信が表彰されました。



行事案内

堺支部 夏期公開講座

「中国福建省南部の歴史・暮らし・文化」―台湾西部との歴史的つながりも合わせて―

泉ヶ丘駅前南区図書館集会室2
8月23日（日）2時から
お話し 亀岡敦子さん

北海道大学大学院文学研究科博士、宋代から明・清代（10・19世紀半ば）の福建東南沿海部の社会と文化に関する歴史を研究。参加希望の方は堺支部浅田まで

日中友好を願う

紫金草コンサート

紫金草合唱団は全国各地にあり、日本と中国の平和を願って歌いつなぎ、2000年からは13回にわたり、中国を訪問し、合唱交流をしてきました。

9月13日（日）1時半
守口市エナジーホール
1500円 府連事務所まで

日中をつなぐ

文化のつどい

11月3日（祝）エル・おおさか南館5階ホールで日中をつなぐ文化のつどいが開催されます。実行委員会への参加と企画をお寄せください。

王希奇「一九四六」大阪展 来年4月開催

中国の画家王希奇画伯が平和への歴史と希望を胸に渾身の腕を奮った作品は横20m、縦3mの巨大作品。鑑賞にかけつけた引き揚げ経験者は「この子は私だ」とその場から動かなかったといひます。

2027年4月6日～18日に豊中市立芸術文化センターで開催予定です。